

授業概要

本講座では企業の会計監査について講義をします。経営者の作成した財務諸表は信頼できるのでしょうか。その信頼性を担保するのが会計監査です。講義では会計監査の必要性から検討を始め、国内外の監査組織体制について学んでいきます。さらに法定監査の金融商品取引法と会社法の会計監査についてその特色を見ていきます。また、監査主体である公認会計士とはどのような職業なのか、資格取得方法や会計士の職責等を紹介します。監査業務では監査基準を概観しながら監査報告書の構成や監査意見等について講義をします。受講者は、簿記会計の基本を学習していることが前提です。

授業計画

第1回	会計監査の必要性を考える。
第2回	財務諸表監査：監査の役割、株式会社の監査の意味
第3回	監査組織①：金融庁、証券取引等監視委員会、公認会計士監査審査会、企業会計審議会、JICPA
第4回	監査組織②：証券取引委員会、FASB、AICPA、PCAOB、国際会計基準委員会、IASB、IFAC
第5回	法定監査：金融商品取引法、会社法（商法）の監査
第6回	公認会計士法：公認会計士法の構成内容、公認会計士の指名と職責、監査法人の存在
第7回	監査主体①：公認会計士の職業、公認会計士試験、継続的専門研修制度、品質管理基準
第8回	監査主体②：公認会計士の職責、正当な注意、職業的懐疑心、秘守義務、
第9回	中間試験（60分試験・30分解説）
第10回	監査基準：監査基準の構成、目的基準、一般基準、監査基準の国際化
第11回	監査プロセス①：監査戦略、試査、監査リスク、リスクアプローチ、モデル化
第12回	監査プロセス②：リスク評価、監査要点、監査証拠の評価、経営者確認書、監査調書
第13回	監査結果の報告：監査報告書、構成、監査対象、除外事項、監査意見、追記情報
第14回	監査の信頼性確保：日本版 SOX 法による監査制度改革、内部統制報告書、監査人の独立性確保
第15回	総括 会計監査とは何か
第16回	定期試験

到達目標

会計と監査の関係を理解して下さい。

履修上の注意

簿記会計の基本を学習していること。専門用語が多いですので事前にテキストの精読が必要です。

予習復習

授業では板書をしますので、ノートを作成し知識の確認をして下さい。

評価方法

- ・ 中間試験と定期試験で評価する。
- ・ 授業態度不良者は「不可」とする。

テキスト

開講時に公表する。

(参考図書)

- 山浦久司『監査論テキスト 第5版』中央経済社
- 盛田良久、百合野正博、朴大栄『まなびの入門監査論 第2版』中央経済社
- 吉森賢『企業統治と企業倫理』放送大学教材